


一般質問通告書

佐野市議会議長 様

		平成 30年 5月 22日	受理者印
		午前 午後	1時 20分 受理 
議会名	平成 30年 第 2 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 9 番 氏名 亀山 春夫		
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 ・ <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁		
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 農地付き空き家について	<p>① これまでに農地付き空き家についての問い合わせ等はあるのか。</p> <p>② 農地付き空き家に移住・定住を希望する 20、30代の若い男性が多いと言われており、佐野市としてこの様な状況をどう捉えているのか。</p> <p>③ 農地法第3条の主な許可基準はどの様なことか。</p> <p>④ 農地を耕作目的で売買(賃借)する場合は、農地法第3条の規定により農業委員会の許可が必要とされておりますが、下限面積はどの様になっているのか。</p> <p>⑤ 地域により下限面積を 30 アールとしておりますが、平成 29 年 4 月よりイチゴ等の施設園芸については、下限面積に満たない場合も例外的に認められるとしておりますが、その面積はどの位となるのか。</p> <p>⑥ 農地付き空き家を買いたい、借りたい時はどの様にすれば良いのか。</p> <p>⑦ 他の自治体では既に1アール未満でも農業委員会の告示によって可能にしているところもあり、佐野市の対応はどの様に考えるのか。</p> <p>⑧ 若者の新規就農についても農地と合わせて、住宅の確保も課題となっており、農地付き空き家の空き家バンクへの登録推進も必要と思うが、どうか。</p> <p>⑨ 関係部局との連携は重要と考えますが、農地付き空き家バンク登録が今後の農業の振興にも寄与できるものとするが、取り組みの決意はあるのか。</p>		

2. 多面的機能支払交付金について

- ① 多面的機能支払制度の概要をお聞きしたい。
- ② 農地維持支払制度について具体的事例でお聞きしたい。
- ③ 資源向上支払制度について具体的事例でお聞きしたい。
- ④ 多面的機能支払交付金の交付単価はどの様になっているのか。
- ⑤ ②の農地維持支払+③の資源向上支払では単価はいくらになるのか。
- ⑥ 先ほどの②の農地維持支払+③の資源向上支払に更に+長寿命化に取り組む場合では合計いくらになるのか。
- ⑦ 平成30年度に拡充された加算措置は具体的にはどの様なことか。
- ⑧ 支援の対象となる組織とはどの様な組織の事か、具体的な例でお聞きしたい。
- ⑨ ②の農地維持支払交付金は具体的にはどの様な組織に支払われるのか。

3. 県内市町における佐野市の平均寿命ワーストについて

- ① 今回の新聞報道を見てどの様に考察されたのか。
- ② 平成16年度からの第1期さの健康21プラン計画時期から第2期目標年度までの平均寿命はどの位延伸できたのか。
- ③ 今回の結果について「がん検診の受診率」が低いことも一因とみられるとしているが、受診率はどの様になっているのか。
- ④ 今後、受診率を向上させる為にはどの様な改善策を考えるのか。
- ⑤ 全国ワースト都道府県別では青森、秋田、岩手などでは食生活の改善に向け市民の理解と協力のもとで努力している様ですが、佐野市においても食生活改善を市民を上げて取り組む体制が必要ではないか。
- ⑥ 健康寿命を延伸し、活力ある持続可能な佐野市を築くことが大切であり、また人の死を最終的に予防することが困難である以上、病気予防の重点は早世におくべきと考えるが、どうか。